

令和元年度第2回山北町まち・ひと・しごと創生推進会議 議事録

日時 令和2年2月28日(金)

午前10時から

場所 山北町役場401会議室

1 開会

(略)

2 町長あいさつ

(略)

3 議題

(1) 山北町第2期人口ビジョン・総合戦略(案)について(資料1)

事務局より説明

- ・人口ビジョンについては、文言や表記の方法等、軽微な変更のみ。
- ・総合戦略については、前回からの変更、修正箇所を説明。

会 長 全国的な地方創生の動きはどのようなものか。

オブザーバー 神奈川県に出向している立場から山北町の案を見させてもらうと、「スポーツ」の項目も盛り込まれており、県の未病に即したものになっていると思う。個人的に、県内のどこの市町村の第2期計画も、基本的には第1期をベースとして+ α を盛り込んでいる形だと捉えている。

会 長 総合戦略のテーマとして、人の流れを変えることあるかと思うが、どう捉えているか。

オブザーバー 「関係人口」がキーワードと考えている。何かしら関係のある人が関われる仕組み作りが重要かと考えている。

会 長 民間の方はどのように捉えているか。当初より地方創生は下火になっているが、町としては交付金を活用して事業に取り組んでいきたいと考えており、企業の協力は不可欠と考えている。第1回目の会議での意見を参考に改めて内部会議にて検討をしたものが現在の(案)なので、改めて意見を伺いたい。

委 員 山北学園の生徒が、スクーリングで山北に来て町のことを気に入っているのは間違いなく、そこから一人でも二人でも、定住に繋げていくことができれば良いと思う。だが、いざ住もうと思った時に、町に十分な住環境が整っているかという点、そういうわけでもなく小田急線の沿線等に住居を借りることが多くなってしまっているのが現状だろう。単身者向けの住居が整備されているといいと思う。

会 長 改めてスクーリングについて説明していただけるか。

委 員 通信制の学校には、不登校だった子や芸能活動をしている子、スポーツに力を入れてオ

リンピック等を目指している子等が来ており、最近では進路の為に積極的に通信制を選択される子も増えてきた。その授業の一環で、山北学園では3泊4日で実施し、近隣の宿に泊めてもらっている。1回に40～50人程来ており、間伐や酪農、介護の見学・体験等も行っている。生徒たちはスクーリングが終了すると、皆元気になって帰っていく。自然と触れ合えることは大きな魅力と考えられる。

会 長 目標の為に頑張る子が高卒資格を取れる魅力的な制度だと思う。山北町にはこういった学校もあり、皆さんにも知ってもらいたい。

会 長 P.42の観瀑台のKPIの設定については、いかにもお役所仕事と捉えられるが、段階的に目標を変更していく、ということで検討していきたいのでご理解いただきたい。

委 員 少子化が進み過疎化が進んでいくのは間違いないのだから、その中で山北町が生き残っていくには、行政がいかに情熱をもって取り組みがされるのかが求められてくるだろう。

会 長 内部会議でも、そういった意見をいただいたと話をした。いくら頑張っても形にならないければ町民には伝わらないので、見えるような形で宣伝し発信もしていこうと話をしたところである。

委 員 KPIの捉え方に少し疑問を感じたのだが、根本にある目標の為の指標だと思っているが、このKPIを達成することで果たして本当に目標に近づけるのかなと感じるものがある。

委 員 単純に目標に繋がるものばかりではないのは事実であり、そのKPIを達成し次の段階を目指していくといった目標も掲げている。

委 員 例えばP.51のKPIで駐車場整備だが、はたして何台分整備するのか、複数ヶ所なのか、小型用なのか、大型用なのかといったニーズの把握も必要であり、マーケティング的な観点からの検討も必要なのかと考えると、単純な目標設定もかなり難しく感じる。

事 務 局 KPIの目標として、達成は簡単だが目標としてはあまりふさわしくないアウトプット指標と、目標としてはふさわしいが設定しにくく達成も難しいアウトカム指標に大別されるが、アウトカム指標に設定すると過大な目標となり過ぎてしまう為、今回はまず令和6年度までの目標として、その先に繋げていけるような目標としたいと考えている。

オブザーバー 他の市町村を見ていると、一見そのKPIを達成してどうなるのかと疑問を覚えるものもある。しかし、ロジックが立てられており、将来を見据えているようなものについては、目標としてふさわしいかと思う。

委 員 第1期計画から、KPIの評価についても問題となっている。いざ、評価する際にもその指標はどう評価すべきかと問題となっていたが、そういった課題が今回の第2期計画には反映されており、第1期より評価しやすいものになってきていると感じている。

委 員 山北町にはメインストリートがないと感じている。メインが山北の駅前なのか、岸なのか2つあってもいいかと思うが、物流の観点からみると道が狭い。広く真っすぐなメインストリートができると、人の流れも円滑になり活性化されると思うので、ぜひ投資していくべきだと思う。例えば、メインストリートから二極化して、都市部と農地部と分けてみてもいいかと思っている。

会 長 町としても岸地区の更なる活性化を図るため、商店や飲食店等を誘致出来ないかと検討している。

委員 山北町は観光スポットが多い。これはいい点だが、その反面、分散しており、観光客も分散してしまっている。町はどこをメインに力を入れていきたいと考えているのか。

会長 ユーシンの人気が出ていた時に、力を入れていこうと考えていたが、行政が主体で実施していくのではなく、本来は地域や企業が連携して盛り上げていき、そこに行政が加わっていきたい。行政がなんでも実施していくということは、よくない考え方だと思っている。

委員 P.39に「新しい時代の流れを力にする」とあるが、町はこれをどういった意図で捉えているのか。

事務局 国では4つの基本目標に加えて、横断目標の2つが追加され、これは主に「Society5.0」と「SDGs」のことを指しているものである。これに関してはP.44に3つ目の先駆的事業やP.56の基本目標4に追加し盛り込んだ。町はあえて横断目標としては設定しておらず、各目標の中に組み込んだ形である。

(2) 山北町総合戦略の平成30年度進捗状況について（参考資料2-1、-2）

事務局より説明

- ・ KPIは最終年度が目標。
- ・ 中間年度は、事業の進捗状況を評価するもの。
- ・ 現段階では、既に第2期の計画策定を進めているため、第1期のKPIや数値目標を変更するのではなく、次期計画へ反映し役立てる。

【次回会議について】

次回は3月26日（木）10時開催予定。

4 閉会

以上